

選択問題紙

経済学部 1・2 部

人文学部 1・2 部（英米文化学科）

2023 年 2 月 9 日

10:00 ~ 11:00 (60分)

注 意 事 項

— 注意事項は裏表紙にもある。問題紙を裏返して必ず読むこと。 —

1. 解答用紙は問題紙の中に折り込まれている。
受験する学部（1・2部の区別を含む）に該当する問題のページと解答用紙の色を下表で確認すること。

選択問題	ページ	解答用紙
日本史 B	2 ~ 9	水色
世界史 B	10 ~ 15	緑色
地理 B	16 ~ 27	紫色
政治・経済	28 ~ 38	桃色
数学（経済学部 1）	40 ~ 44	黄色
数学（経済学部 2 部）	40 ~ 42	灰色

2. 解答用紙は 1 枚だけ提出すること。2 枚以上提出した場合にはすべて無効となる。
3. 解答はすべて解答用紙の指定された欄に記入すること。
4. 試験開始の合図があるまで問題紙を開いてはいけない。
試験終了まで退室してはいけない。
5. 受験番号の記入については裏表紙を参照すること。
— 以下は数学を選択する受験者のみに関する注意である。 —
6. 数学の解答用紙は表裏両面である。数学の解答用紙には答えだけでなく、導出の過程も記入すること。

1 部受験者は問題 **1**，**2** が必須で，問題 **3**，**4**，**5** については，これらの中から 1 問を選択し，解答用紙の の中に選択した問題の番号を記入すること。

2 部受験者は問題 **1**，**2**，**3** の全問が必須である。

日本史 B

1

次の文を読み、下記の問題に答えなさい。なお、下線部と問の番号は対応している。

6世紀末頃になると、飛鳥地方¹に大王の王宮が次々に営まれるようになった。この時期の大王宮は、有力王族や中央豪族²の宮や邸宅の集住を伴わないものが多く、その意味において、藤原京以降の中国的な宮都と大きく異なっていた。これは、その頃、いまだ大王³が隔絶された地位を確立しておらず、わが国において中央集権国家体制が完成してはいなかったことを示している。しかし、宮都が飛鳥周辺を中心に連続的に営まれる⁴につれ、徐々にその都市的空間が整備されていくこととなった。

⁵694年に都が遷された藤原京は、わが国で初めて本格的に ⁶を採用した宮都とされる。藤原京の造営・遷都は、天武天皇⁷のやり残した律令国家建設の課題の一つであったが、それら課題の多くが持統天皇⁸によって達成され、律令国家が確立していくこととなった⁹。

問1 いわゆる「飛鳥の地」は、現在の 高市郡明日香村だとされる。 に当てはまる府県として最も適切なものを下から選び、記号で答えなさい。

ア. 大阪府 イ. 京都府 ウ. 兵庫県 エ. 奈良県 オ. 和歌山県

問2 6～7世紀頃の豪族に関する説明文として適切なものを下から選び、記号で答えなさい。

ア. 加耶西部地域の支配権を高句麗に奪われたことを責められ、大伴義鎮は失脚した。

イ. 仏教受容に積極的な物部氏は、伝統や在来信仰を重んじる中臣氏と、その価値観の違いによって激しく争った。

ウ. 蘇我氏は、渡来人との関係が強く、朝廷の財政権を握った。

エ. 三蔵といわれる斎蔵、内蔵、大蔵は、物部氏、中臣氏、蘇我氏がそれぞれ一蔵ずつ管理したとされる。

問3 甥の厩戸王や中央豪族とともに政治を行ない、飛鳥時代の最盛期を現出したとされる女性天皇は誰か、答えなさい。

問4 この時期、飛鳥地方の外に宮都が営まれたことも数度あった。これに関連して、この時期の出来事(ア～エ)を古いものから順に並べた場合、3番目にくるものとして最も適切なものを下から選び、記号で答えなさい。

ア. 孝徳天皇による難波への遷都。

イ. 中大兄皇子による近江大津宮への遷都。

ウ. 白村江の戦いで唐・新羅連合軍に大敗。

エ. 第一回遣唐使として犬上御田鍬らを派遣。

問5 藤原京の前の宮都の呼称を6字で答えなさい。

問6 に入る、中国の都城制にならった、宮都内において碁盤目状に土地を区画する制度を何と
いうか、3字で答えなさい。なお、都城制は不正解とする。

問7 672年に、大海人皇子（のちの天武天皇）と大友皇子との間でおきた皇位継承をめぐる戦いを何とい
うか答えなさい。

問8 持統天皇が690年に作成した戸籍を何と
いうか、4字で答えなさい。

問9 律令および8世紀後半までの律令国家体制に関連する説明文として適切なものを下から選び、記号で
答えなさい。

ア. 718年に、藤原不比等らにより、近江令がまとめられた。

イ. 律は行政組織や官吏の勤務などに関する規定、令は人民の租税・労役などに関する規定である。

ウ. 中央行政組織は二官八省に分けられ、神祇官と太政官の二官がそれぞれ四省ずつを管轄し、政務
を分担した。

エ. 民衆は戸籍・計帳に登録され、50戸で1里が構成されるように里が編成された。

オ. 税負担に関しては位階が五位以上の貴族は手厚く優遇され、五位以上の貴族のみ調・庸・雑徭な
どの負担が免除された。

目

2

次の文を読み、下記の問に答えなさい。なお、下線部と問の番号は対応している。

¹応仁の乱に始まった戦国の争乱のもとで、各地域に根をおろした実力者が台頭した。彼らは自身の力で領国をつくりあげ、地方権力者として独自の支配をおこなった。

これら戦国大名は、²家臣に組み入れた国人や地侍の収入額を錢に換算した基準で統一的に把握し、その地位・収入を保障する一方で、その基準にみあった軍役を負担させた。そして、³家臣団に組み入れた多数の地侍を有力家臣に預ける形で組織化し、これにより新しい武器を使った集団戦を可能にした。

また、戦国大名は、領国支配のため、基本法の制定、新たに征服した土地の⁴検地、有力商工業者の取り立てと領国内の商工業者の統制、⁵鉱山開発、大河川の⁶治水・灌漑などを進めた。

さらに戦国大名は、⁷城下町を中心にして領国を一つのまとまった経済圏とするため、交通制度を整備するとともに、関所の廃止や市場の開設などによる商業取引の円滑化を進めた。これらの政策の影響もあり、農村の市場や町が飛躍的に発展するとともに、地方中小寺院の⁸門前町も繁栄した。これらの市場や町には販売座席や市場税などを設けないものも多く、戦国大名はこれを保護したり、自ら新設することで商品流通の活性化を図った。

加えて、戦国大名の中には、南蛮貿易の利益を享受するため、宣教師による布教を保護したり、⁹自ら洗礼を受けるものもあった。

問1 応仁の乱で活躍した、徒歩で軍役に服す雑兵を何というか、答えなさい。

問2 このような制度を何というか、答えなさい。

問3 戦国時代の家臣団編制において用いられた、主従関係等を擬似的な血縁関係によって組織する制度を何というか、答えなさい。

問4 面積や収入額を家臣や農民に申告させる検地を何というか、答えなさい。

問5 2007年に世界遺産にも登録された、現在の島根県にある銀山を何というか、答えなさい。

問6 甲斐の釜無川と御勅使川の合流点付近に築かれた堤防を、築いた大名の名にちなんで何というか、答えなさい。

問7 島津氏の城下町を下から選び、記号で答えなさい。

ア. 春日山 イ. 小田原 ウ. 府内 エ. 鹿児島 オ. 左記に正解はない

問8 善光寺の門前町を下から選び、記号で答えなさい。

ア. 仙台 イ. 長野 ウ. 坂本 エ. 堺 オ. 左記に正解はない

問9 キリスト教に改宗した大名のことを何というか、答えなさい。

3 次の文を読み、下記の間(問)に答えなさい。なお、下線部と問の番号は対応している。

幕末から明治維新前後にかけての日本では、国内外の要因による政治変動にともなって、多くの血が流された。政敵の弾圧¹や暗殺が多発し、外国人に対する襲撃²も頻発した。上記の暴力の行使者はもっぱら武士だったが、社会全体が不安定化するなか、農民一揆もあらたな性格を帯び³、町人も打ちこわしへとむかった。政治・社会秩序の動揺が頂点に達したとき、内戦⁴が勃発し、幕府は倒れた。

幕府を倒した勢力は新政府を樹立したが、その支配がすぐ安定したわけではない。政府の施策による負担増加への不安や反発は、農民をふたたび一揆へとむかわせ、侍としての特権を奪われつつあった士族は反乱⁵を起こした。士族反乱は西南戦争を最後にほぼ終息したが、農民騒擾⁶はむしろ明治維新から20年弱後にピークに達し、それをもってほぼ終息した。

政府はこうした反乱や騒擾を抑え込み、成立期の不安定さから脱したが、20世紀に入るとあらたな種類の騒擾が発生しはじめた。近代日本にとって2度目の対外戦争では、東京の群衆は、屋外大会の後に会場の外へと繰り出し、焼打ちや投石をおこなった⁷。こうした都市暴動は、東京で1900年代後半から1910年代にかけて繰り返されることとなる。さらに、シベリア出兵による米価急騰をきっかけとして富山で発生した騒擾は、またたく間に全国に広がり、政府はこの騒擾⁸の鎮圧のため軍隊を出動させている。また、要人の暗殺も跡を絶たなかった。上記の全国的騒擾の後に成立した内閣の首相は、彼が所属する政党の「腐敗」に怒る青年によって東京駅で刺殺され、日本で在任中に暗殺された初の首相⁹となった。

問1 1850年代終盤に大老となった井伊直弼は、条約勅許反対派の公家・大名たちに隠居や謹慎を命じ、彼らの家臣多数を死刑などの厳罰に処した。この弾圧を何というか。

問2 外国人を襲撃した者がしばしば奉じていた排外的な観念を、2字で答えなさい。

問3 この時期の農民の一揆は、多くの場合ある観念を中心としておこなわれた。その観念とは何か。下から選び、記号で答えなさい。

- ア. 排仏
- イ. 世直し
- ウ. 血税
- エ. 徳政

日

問4 この内戦について適切な記述を下から選び、記号で答えなさい。

- ア. 箱館の五稜郭に立てこもっていた徳川慶喜・榎本武揚らが降伏したとき、戦争は終結した。
- イ. 西洋式軍備をそなえる新政府軍は、旧来の日本式軍備しかそなえない幕府軍を圧倒した。
- ウ. この戦争は鳥羽・伏見の戦いによって始まり、しだいに西へと戦線を移動させた。
- エ. 幕府を支持する東北諸藩は、奥羽越列藩同盟を結成して対抗を図ったが、最終的に新政府軍に屈した。

問5 大規模な士族反乱の現場とならなかった県を下から選び、記号で答えなさい。

- ア. 長野県
- イ. 山口県
- ウ. 佐賀県
- エ. 鹿児島県

問6 1884年に埼玉県で発生し、鎮圧のため軍隊が出動した、大規模な農民蜂起の名称を答えなさい。

問7 この大会や暴動の主なスローガンは何か。下から選び、記号で答えなさい。

- ア. 講和反対
- イ. 軍縮反対
- ウ. 増税反対
- エ. 戦争反対

問8 全国に広がったこの騒擾を何と総称するか。3字で答えなさい。

問9 この首相が実行した施策を下から選び、記号で答えなさい。

- ア. 普選法の制定
- イ. 小選挙区制の導入
- ウ. シベリア出兵
- エ. 山東出兵

4

次の文を読み下記の問に答えなさい。なお、下線部と問の番号は対応している。

終戦からおよそ10年の戦後復興期を経て、我が国の経済は順次戦前の水準を回復していった。朝鮮特需を契機とした好景気から¹高度成長期へと転じ、1956年度の『経済白書』には「もはや（ ）²ではない」という言葉が記された。

しかし、当初の経済成長は内需主導型で、企業の国際競争力もなかったため、輸入超過からくる外貨不足がたびたび景気の足を引っ張った。しかしながら、³日本の企業も徐々に生産性や品質を高めることに成功し、それによって日本製品の海外輸出も増加、国際収支も黒字に転換していった。国際競争力の向上に伴って、我が国は国際的にも先進国の仲間入りをし、本格的に⁴自由貿易体制に参加するとともに、様々な義務も果たすことになり、自由貿易体制のもと1960年代後半には大幅な貿易黒字が続いた。1966年から1970年まで57カ月続く過去最長の好景気に恵まれ、この間、資本主義国の中で米国に次いで世界第二位の経済大国になった。

こうした高度成長を背景に、国民の所得は大幅に伸び、大衆消費社会が形成された。様々な耐久消費財が大量生産、大量販売体制によって普及し、割賦販売制度が購入を後押しした。交通網では、東京オリンピックの開催に合わせて（ ）⁵が開通し、モータリゼーションの進展と並行して各地に高速道路が開通した。

このように、我が国はかつてないほどの急速な発展を遂げたが、経済成長を最優先した歪みは社会の各所に現れた。その最たるものが⁶公害であろう。企業が垂れ流していた汚染物質による環境破壊、公害病に苦しむ被害者も放置されたまま、世論の高まりから⁷対策が求められるようになった。また、開発の偏りも顕著になった。太平洋側に重化学工業地帯が出現し、⁸太平洋ベルトへの産業と人口の著しい集中がみられた。都市部への人口集中により、交通渋滞や騒音・大気汚染が発生し、住宅や病院の不足も目立つようになった。こうした、過密化、住宅問題、交通問題などに悩まされる大都市圏では、⁹革新自治体が生まれ、国政とは一線を画す、公害規制、老人医療の無料化、福祉政策で成果を上げた。

問1 高度成長期におこった好況の順番を正しく並べたものを一つ選び、記号で答えなさい。

- ア. いざなぎ景気→神武景気→オリンピック景気→岩戸景気
- イ. 神武景気→岩戸景気→オリンピック景気→いざなぎ景気
- ウ. 岩戸景気→神武景気→いざなぎ景気→オリンピック景気
- エ. 神武景気→オリンピック景気→岩戸景気→いざなぎ景気

問2 カッコ内に入る正しい語句を2字で答えなさい。

問3 高度成長期の日本企業にみられた特徴について述べた文のうち、誤っているものを一つ選び、記号で答えなさい。

- ア. 鉄鋼・造船・自動車・電気機械・化学などの分野で、アメリカの技術革新の成果を取り入れて設備の更新がなされ、高い生産性が獲得された。
- イ. 過度な輸出のため欧米諸国とのあいだに貿易摩擦が生じ、特に自動車産業では自主的に輸出規制をすることで欧米政府の追及を免れた。
- ウ. 終身雇用・年功賃金・労使協調を特徴とする日本的経営が確立した。
- エ. 春闘方式を導入した労働運動の展開などによって労働者の賃金が著しく上昇した。

問4 この時の日本の自由貿易体制への参加について述べた文のうち、誤っているものを一つ選び、記号で答えなさい。

- ア. 日本は1963年に GATT 11条国へ移行、1964年には IMF 8条国へ移行するとともに OECD に加盟して、為替と資本の自由化を実施した。
- イ. 戦後解体された三菱重工が再合併し、八幡製鉄と富士製鉄が合併して新日本製鉄となるなど、激しい国際競争にさらされるなか大型合併が進められた。
- ウ. 都市銀行が系列企業への融資を通じて企業集団を形成した。
- エ. 激しい国際競争に耐えられず北海道拓殖銀行と山一証券が破たんしたが、その損失を埋めるために多額の公的資金が投入された。

問5 東京オリンピックの開催に合わせて開通した高速鉄道は何か、答えなさい。

問6 高度成長期における公害とその対策について述べた文のうち、誤っているものを一つ選び、記号で答えなさい。

- ア. 公害対策基本法が制定され、大気汚染・水質汚濁など7種の公害が規制され、事業者・国・地方自治体の責任が明らかにされた。
- イ. 先進国の間で京都議定書が採択され、温室効果ガスの排出削減目標が定められた。
- ウ. この時期、四大公害に関する被害者からの訴えが届けられるようになり、四大公害訴訟がはじまった。
- エ. 四大公害のうち水俣病・イタイイタイ病は工場排水、四日市ぜんそくは石油化学コンビナートによる大気汚染が原因であった。

問7 これまで各省庁でばらばらに対策されてきた公害対策を一本化することを意図して1971年に設立された行政機関は何か、答えなさい。

問 8 1962年に制定された新産業都市建設促進法では、こうした太平洋ベルト地帯への集中を緩和し、都市間格差を是正しようとしたが、その法律で指定されたいわゆる地方開発拠点として正しくないものを下から選び、記号で答えなさい。

- ア. 道央
- イ. 八戸
- ウ. 富山高岡
- エ. 広島

問 9 1967年に東京都知事に当選した革新首長の名前を下から選び、記号で答えなさい。

- ア. 蜷川虎三
- イ. 美濃部亮吉
- ウ. 青島幸男
- エ. 石原慎太郎